

体験格差の現実と未来、機会の不平等を乗り越える。講演会
ワークショップ報告書

■開催概要

開催日：2024年12月9日（月）15:00 から 16:00

場所：札幌エルプラザ大ホール 3階

参加人数：約 35 名

本ワークショップでは、「体験格差」のテーマで講演会開催が初めてであった。参加者自身が具体的にどのような部分で体験格差を感じ、どのような点に関心があるのかが把握しきれていないため、この指とまれ方式（テーマ出しをして集う）でワークショップを開催した。

■当日のプログラム

時間	プログラム
15:00	オリエンテーション／ワークショップの目的／グラウンドルール
15:05	参加者同士自己紹介
15:15	ワークショップ（この指とまれ方式）の説明
15:20	参加者よりテーマ出し 呼びかけのテーマ「体験格差を子どもたちや大人たちが乗り越えていくために、ここにいるみんなと話してみたいこと」
15:25	テーマを発表
15:28	参加者が話したいテーマへ移動
15:30	ダイアログスタート （えんたくん、ワークシートを使用）
15:50	全体シェア
16:00	終了

■開催結果

1. 参加者から出たテーマ(順不同)

- ① 大人はどう変わったらいい？
- ② 公共（パブリック）の役割とは？
- ③ お父さんもお母さんもハッピーになれる体験の場づくり
- ④ 子どもの体験格差により選択肢が思い浮かばない環境の打破
（やりたいことが思いつくことが当たり前ではない）
- ⑤ あそびと余白

2. 各テーマから出た意見など(記録の範囲内)

テーマ ①大人はどう変わったらいい？

話してみてわかったこと・大切なこと	グレーな領域で起きることに価値があるかもしれない
NEXT ステップ やってみたくなったこと	
残しておきたくなった言葉やメモ	・なんか揃えに行く必要はなさそう ・大人、子どもで分けなくても良さそう

■えんたくん記録

【与えるのは大人？】

- ・ある意味ほったらかしてた
- ・自由・無駄
- ・幼児期からの経験がそもそも体験になる

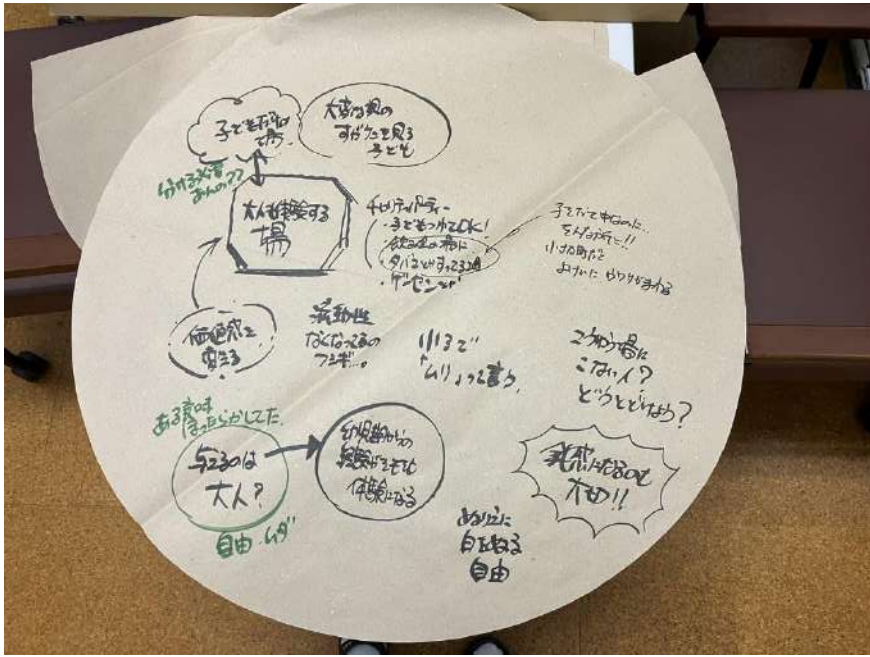
【大人も体験する場】

- ・価値観を変える
- ・子どもだけの場、分ける意味あるの？
- ・大変な親の姿を見る子ども

【チャリティーパーティー】

- ・子ども連れてOK
- ・飲み会の場に
- ・タバコとか吸ってる場→子育て中だけどそんなところに！小さな町だと余計に噂が回る
- ・ゲーセン

- ・流動性無くなっているの不思議
- ・小3で「ムリ」っていう
- ・こういう場に来ない人、どう届けよう？
- ・鈍感になるのも大切
- ・ぬりえに白を塗る自由



2024.12.9 WS

テーマ



大人はどのくらい変わったら良い?



話し合いの大切さ

話し合いの大切さ
話し合いの大切さ
話し合いの大切さ



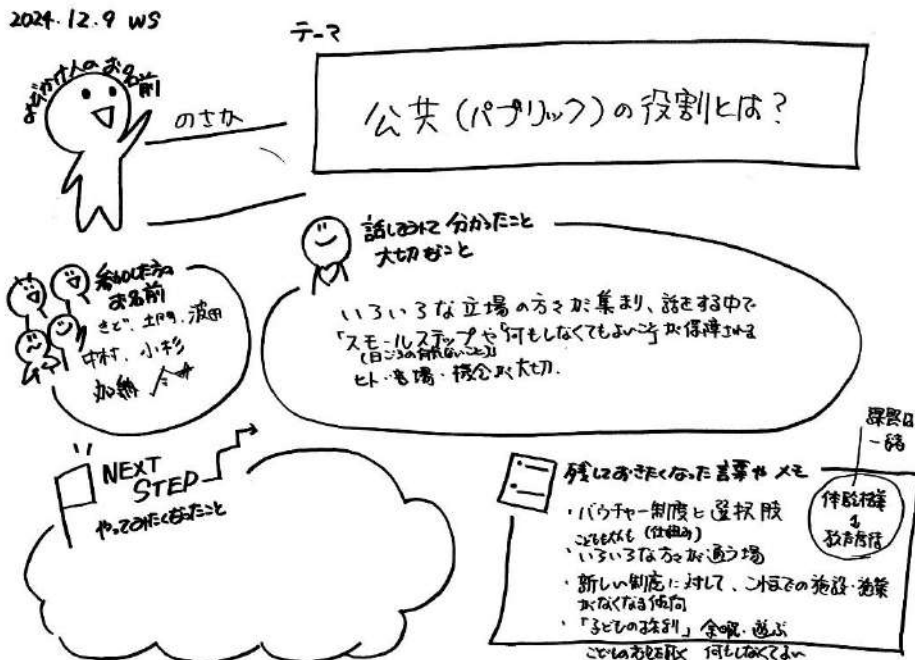
話し合いの大切さ
話し合いの大切さ
話し合いの大切さ

テーマ ②公共（パブリック）の役割とは？

話してみてわかったこと・大切なこと	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな立場の方々が集まり、話をする中で「スモールステップ（日頃の何気ない事）や何もしなくてもよいこと」が保障される ・人、場、機会が大切
NEXT ステップ やってみたくなったこと	
残しておきたくなった言葉やメモ	<ul style="list-style-type: none"> ・バウチャー制度（仕組み）と選択肢 ・子どもも大人もいろいろな方々が通う場 ・新しい制度に対して、これまでの施設、施策がなくなる傾向 ・「子どもの権利」余暇、遊ぶ、子どもの意見を聴く、なにもしなくてよい ・体験格差⇨教育●●（課題は一緒）

■えんたくん記録

記録なし

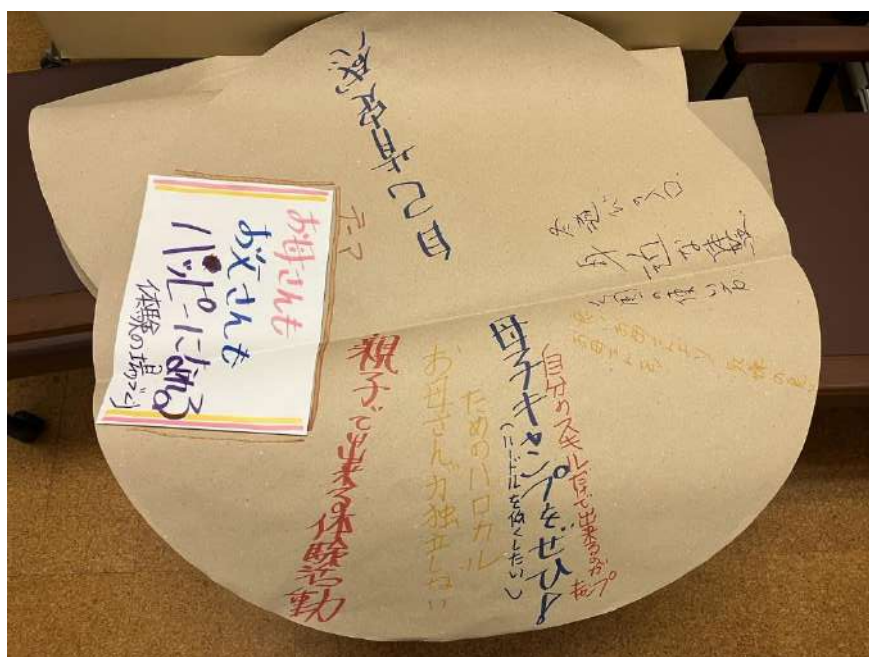


テーマ ③お父さんもお母さんもハッピーになれる体験の場づくり

話してみてもわかったこと・大切なこと	<ul style="list-style-type: none"> ・父母が子育てで大変そう ・通勤族の母は札幌の雪が初めての中子育て ・スウェーデンでは良い母ではなく機嫌のいい母が大切 ・親がキャンプできない ・0、1歳が自然の中に行けていない
NEXT ステップ やってみたくなったこと	<ul style="list-style-type: none"> ・親子自然体験 ・母子キャンプ ・公園→体験施設→家庭でキャンプ
残しておきたくなった言葉やメモ	

■えんたくん記録

- ・冬遊びの人口
- ・身近な体験
- ・公園の使い方
- ・良いお母さんより機嫌のよいお母さん
- ・自分のスキルだけでできるのがキャンプ
- ・母子キャンプをぜひ！（ハードルを低くしたい）
- ・お母さんが独立しないためのハロカル
- ・親子でできる体験活動



2024.12.9 WS

テーマ



お母さんもお父さんもハッピーになる
体験の場づくり



話し合える分には
大切だよ

お母さんが子育て大変だよ
お父さんが子育て大変だよ
お友達も子育て大変だよ
お母さんが子育て大変だよ
お父さんが子育て大変だよ
お友達も子育て大変だよ

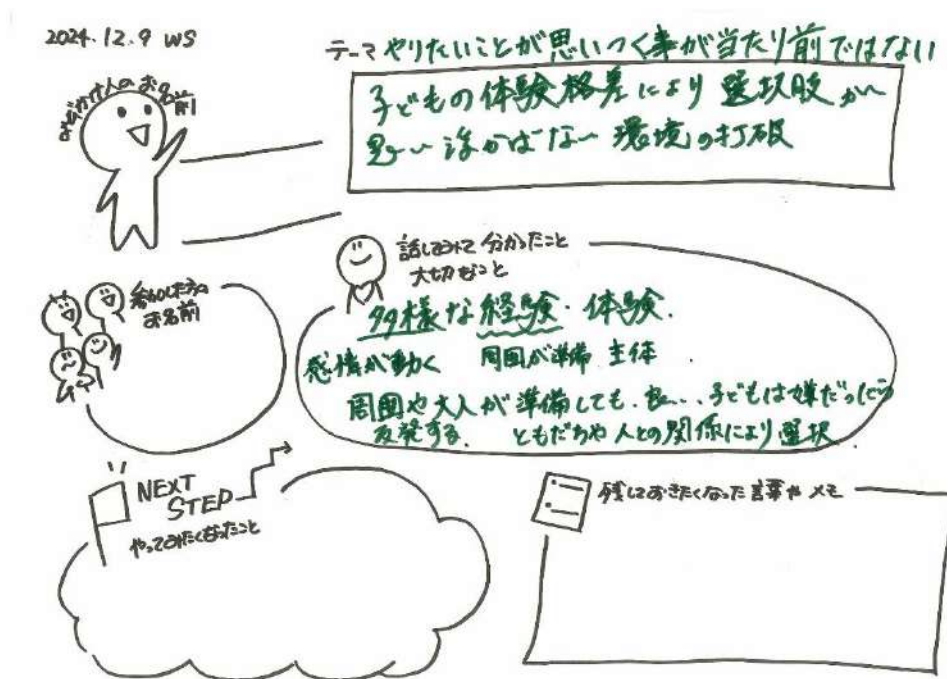
NEXT STEP
親子自然体験
公園 → 体験施設 → 家庭での

残しておきたい大事なメモ
お母さんに記録

テーマ ④子どもの体験格差により選択肢が思い浮かばない環境の打破
 (やりたいことが思いつくことが当たり前ではない)

話してみてわかったこと・大切なこと	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な経験、体験 ・感情が動く ・周囲が準備 ・主体 ・周囲や大人が準備しても良い ・子どもはいやだったら反発する ・友達や人との関係により選択
NEXT ステップ やってみたくなったこと	
残しておきたくなった言葉やメモ	

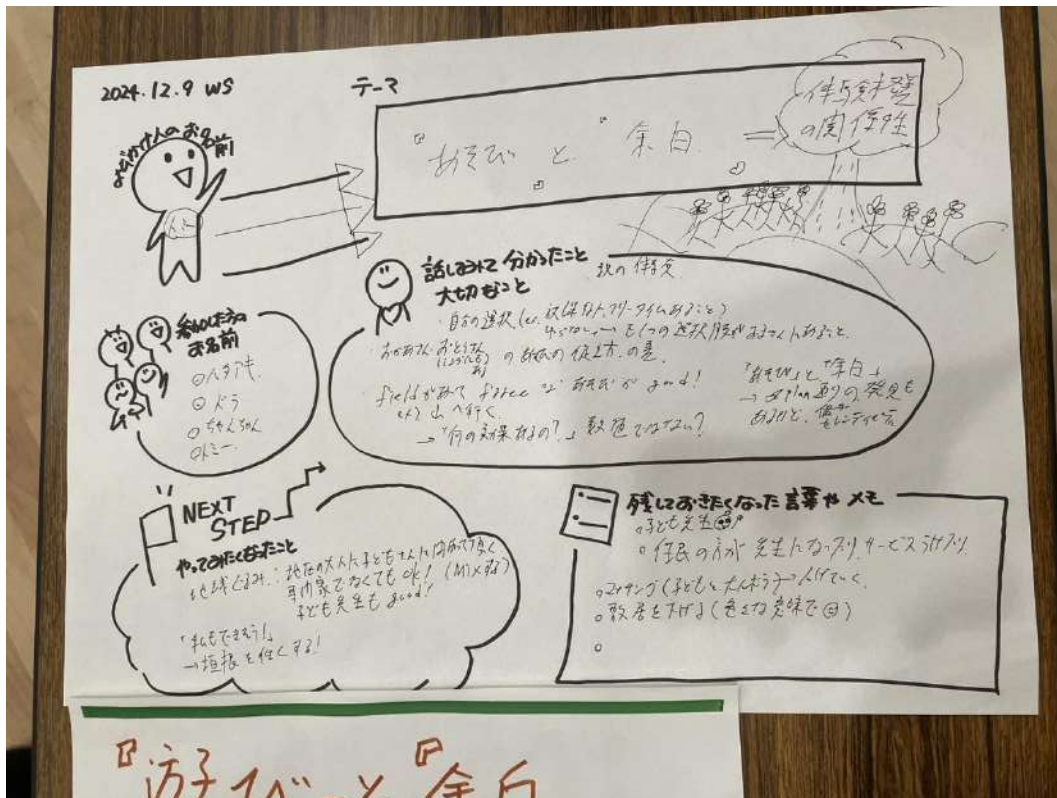
■えんたくん記録



テーマ ⑤あそびと余白

<p>話してみてわかったこと・大切なこと</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・親の伴走 ・自分の選択（放課後にフリータイムがあることなど） ・お母さんお父さん（シングルもある）の遊びの捉え方の差 ・フィールドがあってフリーな遊びが good！（山へ行く） →なんの効果があるのか？数値ではない？ ・遊びと余白 →プラン通りの発見もあるけどセレンディピティ
<p>NEXT ステップ やってみたくなったこと</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ぐるみ：地区の大人に子どもさんに関わっていただく、専門家でなくても OK（MIX する）、子ども先生も good！ ・私もできそう！→垣根を低くする
<p>残しておきたくなった言葉やメモ</p>	

■えんたくん記録



3. 当日の写真及び資料



